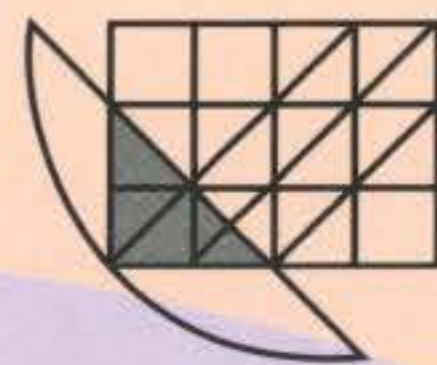


博物館だより



和歌山県立博物館

WAKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM

No.8

2003.3.11

特別展 天野の歴史と芸能

会期＝平成15年10月11日(土)～11月24日(月・祝)



重要文化財 丹生都比売神社楼門

特別陳列 紀伊狩野の絵画 — 収蔵品を中心に —

会期＝平成15年4月26日(土)～6月8日(日)

特別展

天野の歴史と芸能

会期Ⅱ平成15年10月11日(土)～11月24日(月・祝)

かつらぎ町天野地区にある丹生都比売神社(天野大社)は、弘法大師空海の開いた高野山のふもとに位置し、その守り神として古くより多くの人の信仰を集めていました。とくに軍神・農業神として朝廷や武士たちの信仰が厚かった中世においては、刀剣や工芸品が多く奉納されたのをはじめ、中国伝来の一切経の供養を行うため神前に奉納された舞楽で使われた装束・仮面・楽器など、日本文化史上の「奇跡」とも言われる文化財が数多く伝わっています。また、歌人・西行ら多くの文人たちの逸話や伝承、「御田」や「六斎念仏」などの民俗行事も、天野の大きな魅力のひとつになっています。今回は、日本各地に分散する天野の文化財を、はじめて一堂に集めて展示します。約二百点の展示資料から天野が持つ豊かな魅力を十分に味わっていただきたいと思えます。



重要文化財 金銅琵琶(伝平政子奉納) 丹生都比売神社蔵
鍛造した銅を茄子形に仕上げた胴体に半月を透かし、竹林の中の虎を描いている。平政子は天野社に気比・巖島神を勧請した源頼朝の妻である。



国宝 銀胴蛭巻太刀拵 丹生都比売神社蔵
木地の上に銀鍍金をほどこした帯状の板を巻き付け、隙間には黒漆を埋めて堅牢に作った太刀で、当初は金と銀に輝いていた。柄を鋭く反らせ細身で優美な姿をみせる、類例の少ない12世紀の遺品である。



重要文化財 漆塗太鼓形酒筒 堺市博物館蔵
太鼓の形をした大きな酒筒で、黒漆地に朱漆を重ねた仕上げとする。胴の底部に刻まれた銘文から、文明5年(1473)に天野の山王院に寄進されたものであることが分かる。



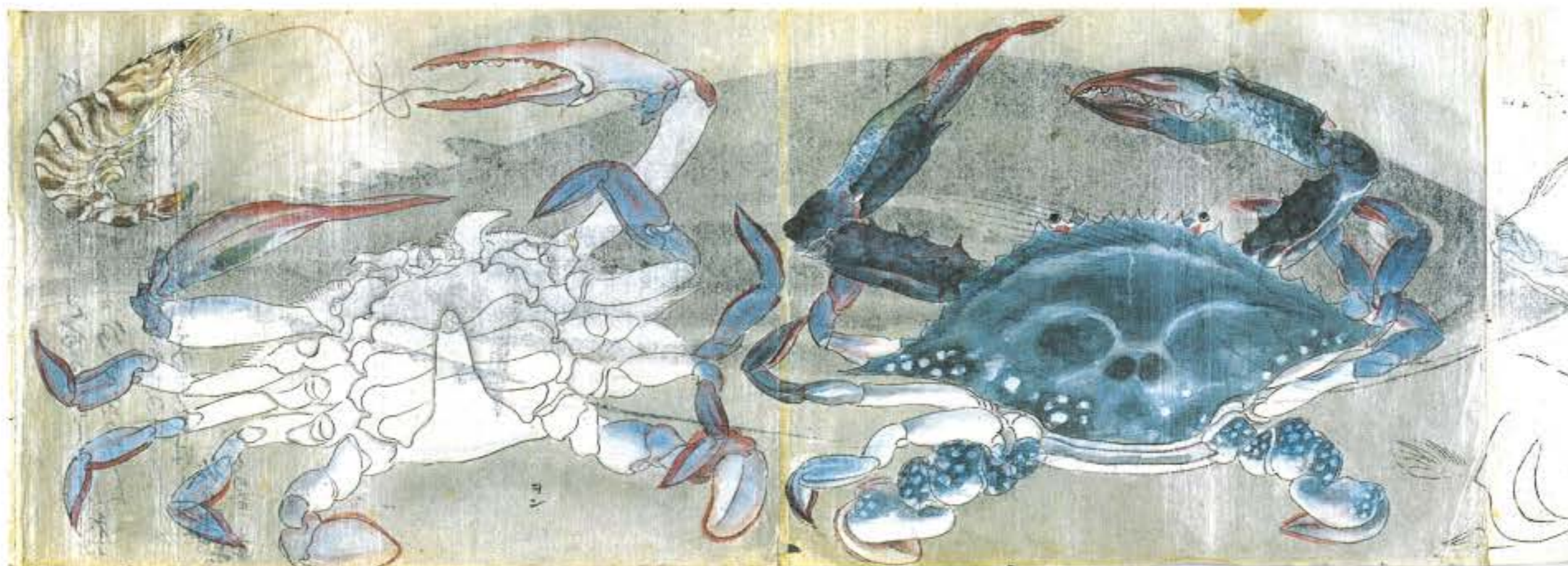
重要文化財 紺地花菱亀甲文半臂 カネボウ株式会社蔵
太い平糸を用いて花菱と亀甲文をざっくりとぬいあげた半臂で、童子が着用した舞楽装束のうちのひとつ。自由自在な針運びが刺繍独特の味わいを生み出している室町時代の逸品である。

開催要項(両展共通)

◇開館時間 午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

◇入館料

特別陳列 紀伊狩野の絵画



紀伊狩野家伝来絵画資料のうち 魚貝図巻 個人蔵 江戸時代

特別陳列

紀伊狩野の絵画

収蔵品を中心に

会期 平成15年4月26日(土)～6月8日(日)

館蔵品コーナー⑧



唐人物図屏風 二曲一隻
紙本墨画 狩野興甫筆 江戸時代前期 縦168.0×横183.6

狩野興甫は、江戸時代初期に活躍した狩野探幽を指導したともいわれる狩野興以の長男で、寛永4年(1627)に紀伊藩初代藩主の徳川頼宣に切米100石で召し抱えられました。

本図は、竹林の中で書をしたためる五人の高士を描いています。中国では、高士の嗜みである琴・棋・書・画の四芸を描くことが、古来から漢画の画題として愛好されたようです。よくみると本図の両脇に取っ手の跡がみえ、もとは襖絵として制作されたものであることがわかります。右隅にある落款銘や全体の画面構成から考えて、左側に連続した図様があったとするのが自然です。本図は、そのうちの二面を屏風仕立てにしたものと考えられます。

モチーフ全体を画面の下半分に収めて余白を生かしている点などは探幽以来の技法を継承したものと考えられ、竹棹に濃淡を付けることによって、画面に空間の広がりや安定感をもたせています。残された作品が多いとはいえない興甫の作品にあって、本図は貴重なものといえるでしょう。

この屏風は特別陳列「紀伊狩野の絵画」でご覧いただく予定です。

主な出陳品(予定)

- 和歌浦・松島・切戸図(三幅対、狩野探幽筆) 個人蔵
- 唐人物図屏風(二曲一隻、狩野興甫筆) 当館蔵
- 梅に鷹図(二幅、山本養和筆) 当館蔵
- 紀伊狩野家伝来絵画資料(主に粉本) 個人蔵

この特別陳列では、当館に収蔵している狩野興甫(紀伊藩お抱え絵師を勤めた紀伊狩野家初代)や興益(二代)の作品、粉本を中心とする紀伊狩野家伝来の絵画資料から、江戸時代の紀伊狩野家の活躍の様子を明らかにします。同時に、紀伊狩野家以外のお抱え絵師たち(岩井泉流・山本養和・笹川遊泉・野際白雪など)にも注目して、彼らの作品も展覧し、紀伊狩野(紀伊狩野家と狩野派のお抱え絵師たち)の実態に迫りたいと考えています。展示では、「幕府お抱え絵師と紀州」、「紀伊狩野家の誕生」、「紀伊藩お抱え絵師の活躍」、「再興された紀伊狩野家」という四つのコーナーを設け、写真パネルなども交えながら、ご覧いただく予定です。ご期待ください。

◇休館日 毎週月曜日
ただし、左記の月曜日については祝日のため開館し、翌日が休館日となります。
紀伊狩野の絵画 5月5日
天野の歴史と芸能 10月13日・11月3日
11月24日

※団体は20人以上です。
※65歳以上の方、障害者の方は無料。

団体	個人	
660円	810円	一般
400円	510円	大学生
無料	無料	高校生以下

特別展 天野の歴史と芸能

団体	個人	
330円	400円	一般
200円	250円	大学生
無料	無料	高校生以下

平成15年度の展覧会

展覧会名・日程などについてはいずれも予定です。詳しくは博物館学芸課までお問い合わせ下さい。

コーナー展	コーナー展	コーナー展	特別展	コーナー展	コーナー展	コーナー展	特別陳列	コーナー展
きのくにの工芸	新収蔵品展	むかしの絵はがき	天野の歴史と芸能	きのくにの文化財2003	文化財つてなんだろう?	きのくにのやきもの	紀伊狩野の絵画 —収蔵品を中心に—	きのくにの仏像
3月13日～ 4月18日	1月24日～ 3月7日	11月30日～ 1月18日	10月11日～ 11月24日	9月6日～ 10月5日	7月26日～ 8月31日	6月14日～ 7月21日	4月26日～ 6月8日	開催中 4月20日
和歌山県内に残されている文化財の中から、工芸資料(金工・漆工・染織品陶磁器)について、館蔵品・寄託品を中心に紹介します。	県立博物館で近年購入・収集した資料の中から、絵画・工芸品・歴史資料について展示します。	写真は多くの情報を後世に残します。近年は写真も文化財として認められるようになりました。戦前の絵はがきからかつての景観・歴史をご覧下さい。パネル展「きのくにの国宝」を併設します。	かつらぎ町天野地区の歴史を、丹生都比売神社(天野大社)や地域に残る資料から紹介します。各地に分散した天野の文化財が初めて一堂に会します。詳しくは本文を参照下さい。	県立博物館では県内各地の国宝・重要文化財・県指定文化財をはじめ、多くの文化財の寄託を受けています。館蔵品も含め、優れた文化財の数々を展示します。	「文化財」とはどのようなものかご存じですか。その種類や区分を館蔵品や寄託品等からわかりやすく紹介します。人間が作り出してきたもの・自然の営みが形成したものの、全て文化財なのです。	県立博物館の館蔵品の中には、やきもの(大コレクション)があります。このコーナー展では、和歌山にゆかりの偕楽園焼・瑞芝焼・南紀男山焼の優品を紹介します。	紀伊藩のお抱え絵師、紀伊狩野家に関する資料を展示し、その具体像に迫ります。あわせて紀伊狩野家以外のお抱え絵師の作品も展示します。詳しくは本文を参照下さい。	当館に寄託されている仏像の中から、重要文化財をはじめとする指定文化財や初公開資料を展示し、その形の流れを時代を追って展示します。

お知らせ

●和歌山県立博物館では巡回展「弘法大師入唐二二〇〇年記念 空海と高野山」を平成16年10月9日から11月23日までの会期で開催する予定です。関連して平成15年4月30日に、講演会「高野山、書の名品に出会う」(講師 京都国立博物館保存修理指導室長 赤尾栄慶氏)を和歌山県立近代美術館(博物館となり)二階AVホールにて行います。参加をご希望される方は、FAX又はハガキに住所・氏名・電話番号(FAX又はハガキ一枚で三名まで)を明記の上、4月17日までに、次の宛先までお申し込み下さい。定員は二〇〇名ですが、申し込み多数の場合は抽選の上、可否をご連絡させていただきます。〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14 和歌山県立博物館 FAX 073-423-2467

●博物館では平成15年度より、ご来館の皆様の展示鑑賞の一助としまして、専用機器による音声ガイドを導入します。博物館職員手作りによるガイドですので、皆様のご意見を伺いながらよりよい内容にして参りたいと存じます。音声ガイドは一般二〇〇円、高校生以下一〇〇円の料金でご利用いただけます。

博物館の利用案内

開館時間 午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)
年末年始および展示替え期間中は臨時に休館します。
詳しくは博物館までお問い合わせ下さい。
駐車場 2時間以内は四〇〇円、以後30分ごとに二〇〇円追加。
大型バスの駐車スペースもありますので、お問い合わせ下さい。
※学校行事・授業の一環でご利用の場合、あらかじめご連絡下さい。

入館料

〈常設展(コーナー展)〉

団体 (20人以上)	個人	一般	大学生	高校生以下
210円	260円			
120円	150円			
無料	無料			

※65歳以上の方、障害者の方は無料です。
(受付で証明書等を提示してください。)
※特別展の入館料は本文をご覧ください。

和歌山県立博物館友の会

◆平成15年度会員募集のお知らせ

県立博物館では、友の会会員を募集しています。常設展(コーナー展)・特別展を無料で鑑賞できるほか、文化財めぐりバスツアーや七夕まつりなどの行事や様々な特典があります。年会費は一般会員が三、〇〇〇円、賛助会員が六、〇〇〇円です。
申込み・問い合わせは、和歌山県立博物館友の会事務局までお願いします。
(☎073-436-8670)

和歌山県立博物館 博物館だより 第八号

発行日 平成15年(二〇〇三)3月11日
編集 和歌山県立博物館
〒640-8137 和歌山市吹上二丁目四番二四号
TEL(073)436-8670
<http://www.wakayama.go.jp/hakubutu.html>